



## 東地中海地域ニュース

### トルコ・イラク：バルザーニ発言に対するトルコの反応 (4月9-10日付現地各紙)

1. バルザーニ・クルド地方政府大統領の発言。
  - (1) (4月7日、アラビーヤTVのインタビューで)トルコはキルクーク問題に干渉すべきではない。もし干渉すれば、我々はトルコのディヤルバクル及びその他の都市の問題に介入するだろう。トルコが数千人のトルクメンの為にキルクークに介入すれば、我々はトルコにいる3千万人のクルド人に関して何らかの行動を起こすだろう。
  - (2) (8日、エルビルで開催された会合で)クルド独立国家の設立はクルドの権利であり、クルド国家は10-15年以内に設立可能である。
2. エルドアン首相の発言(9日)  
イラクの指導者は自分の立場をよく認識しなければならず、実践不可能な発言をすべきでない。さもなくば、自らの発言がもとで破滅することになるだろう。北イラク政府は明らかに誤りを犯している。彼らが払う代償は非常に高いものになるだろう。
3. タラバーニ・イラク大統領は9日、エルドアン首相に電話し、バルザーニ発言に対する遺憾の意を表すと共に、「我々はトルコと良い関係を維持することを望んでおり、トルコと共同で作成したプランの下にテロ組織と闘う用意ができています」と述べた。
4. 国家安全保障会議4月定例会合での協議(10日、イラク関連部分)
  - (1) ステートメント要旨：  
イラク情勢及び同情勢に関する政策が議論され、イラクの領土的一体性及び政治的統一、トルコ・イラク国境地帯の安全護持、イラクの国際法上の地位を守る重要性が強調された。イラク北部からトルコへ向けられたテロの脅威に対してイラクがとるべき対策に関し、トルコ政府がイラク政府に送った口上書を踏まえ、トルコとして今後とるべき政治、経済及びその他の分野での対応策が検討された。
  - (2) 協議概要(報道):  
イラク政府に送付された口上書が議題に上り、イラクが具体的行動を起こさない場合、越境作戦を含め、トルコはあらゆる手段を考慮にいれる必要があることが協議された。
5. トルコ政府が検討中の北イラクに対する経済的措置(10日付報道)
  - (1) ハブル国境門の閉鎖(但し、イラク向け物資輸送の代替ルートとしてオバキョイに新国境門を開設、あるいはシリア経由ルート等を検討)
  - (2) メルシン自由貿易地域においてバルザーニ同大統領及びその親族がもつ権益の調査。
  - (3) エルビルへの航空便の許可取消し。
  - (4) クルド地域から欧州に向かう航空機に対するトルコ領空の封鎖。